



第54号

今号の主な内容

- 予算審査……………①～③/⑥
- 会派代表質問……………④～⑤
- 議決一覧……………⑦
- かつこうのさえずり/今後の予定……………⑧

決定

滝沢家の6年度のおさいふ事情

【一般会計の一部を紹介】

ローンの返済
(公債費)
約14億円

子育て・高齢者
(民生費)
約88億円

教育費
約19億円

お家の維持費
預金
(総務費)
約22億円

外構整備
お庭の手入れ
(土木費)
約20億円

ゴミ収集車
各種健診料
(衛生費)
約21億円

支出
205億円



6年度の関心事

6年度の予算で特に大切に考えてほしいこととして

- ICT教育
- 滝沢市に必要な医療体制
- 交通弱者対策

などが専門委員会から挙がりました。特に交通弱者の公共交通の改善は重要なことから、この心配事を解消するために市長に対して具体的な対応計画を検討するように附帯決議(予算執行に対する意見)を付けました。

滝沢市は広いから
誰もが自由に移動
できる環境が整う
といいよね!



予算決定までの流れ

専門委員会ごとに特に重要と捉えた課題をピックアップして審査の内容を協議



審査: 専門委員会で挙げた課題と各委員から質疑



質疑の終了後: 各専門委員会で賛否に向けた協議



審査の決定

歳出 第3専門委員会【産業建設分野】

重点

中心拠点を核とした交通網の整備

- ①向新田線道路改良舗装事業について
- Q: 主要地方道盛岡環状線及び県道盛岡滝沢線との結節点の渋滞対策は。
- A: 県道との接続部の交差点に右折レーン等を設けます。
- Q: ビッグルーフ滝沢でイベントがあった場合の対応は。
- A: 計画交通量調査の結果は、イベント時の来場者数は加味していません。
- ②地域公共交通維持確保事業について
- Q: 中心拠点商業地区は市内全域から公共交通で利用可能な計画か。
- A: 中心拠点地域は将来の主要な交通結節点と考えており、市内全域からアクセスが可能となるよう具体的に検討します。

【審査の視点】

- 市の新たな中心拠点とするために近隣地域からだけでなく、市内全域から足を運べる交通網整備が計画されているか。



重点

交通弱者対策

- ①地域公共交通維持確保事業について
- Q: 路線バスの減便による交通弱者への対応策は。
- A: 6年度に盛岡交通圏（盛岡市、滝沢市、矢巾町）による公共交通の再編に関する協議を行うこととなっています。また、高齢者への助成や割引などを検討します。
- Q: 交通小需要地区で実施した実証実験の結果は予算に反映されているか。
- A: 4年度に実証実験を行い、5年度も継続しましたが利用者が少なく、6年度は実験ではなく地元から自前でやりたいとの話があり、委託費として130万円を計上しました。
- Q: ボランティアで交通弱者の支援をしている団体への助成は計上されているか。
- A: 交通事業者との調整が難しいこともあり、計上していません。

【審査の視点】

- 路線バスのさらなる減便への対応策は。
- デマンド交通、ライドシェアの今後の研究予定は。
- 交通小需要地区で実施した実証実験の検証は。

【重点項目以外の質疑】

《企業誘致事業》

- Q 新たな産業用地の考えは。
- A 中心拠点商業地区の他は、岩手県立大学周辺と滝沢中央スマートーIC周辺を考えています。

《水田農業対策事業》

- Q 大幅増の要因は。
- A 防衛省からの補助で、新しいで農業協同組合のライスセンターの更新を6年、7年度と継続で行う新規事業が要因です。

《空き家対策推進事業》

- Q 不良度ランクのC、D評価への対応は。
- A 近所からの苦情などの情報により現況を把握し、所有者に文書などの通知や連絡を取って改善策を協議しています。
- Q 空き家の所有者には、空き家の適正管理や空き家バンク、補助金制度などの情報提供を行っています。

《水道事業》

- Q 人材育成のための予算活用は。
- A 外部機関の日本水道協会、日本経営協会などの専門研修の受講費用に活用します。
- Q 漏水対策で調査費が年々増加している要因は。
- A 物価高騰により、委託費や設計単価の上昇によるものです。
- Q 5年度に比べ6年度は2割の増となります。

【総括質疑】

《交通弱者対策》

- Q 交通弱者への対策は。
- A 6年度は公共交通の再編や利便性の増進を前提とし、具体的な検討に入るため、交通弱者への対応も検討します。
- Q 福祉バスの活用は。
- A 福祉バスの再編を検討するため、6年度は委託費を予算計上しました。
- Q ボランティア輸送への支援策は。
- A 安全管理や既存のバス・タクシー事業者と調整が図られ、公益性があると認められた際は支援を検討します。

歳出 第1専門委員会【総務教育分野】

重点

ICT教育

- ①学力向上・指導力向上事業について
- Q: ICTを活用した学力向上と指導力向上のための教職員の取り組みは。
- A: 各学校のICT担当者と不慣れな教員を対象としたICT教育研修会を6年度も継続し、多くの教員にICTを活用した授業を参観いただく予定です。
- ICTの活用により、講義型授業からの脱却と主体的、対話的で深い学びを推進します。
- ②実践的指導力向上のための各種研修会開催事務について
- Q: 研修の内容にICT教育に関する内容は入っているか。
- A: ICT教育研修会を開催することで、教職員のICT活用スキルを高め、児童・生徒の学びにつなげていきます。
- ③小学校プログラミング教育推進事業について
- Q: 目標設定（達成状況等）をどのように定めているか。
- A: 岩手県立大学の学生によるNPO法人「IRCプロジェクト」へ各小学校でのプログラミング授業を委託しています。目標

値は、学生の各学級への派遣者延人数から定めています。派遣は1学級あたり最大3名で、各学級2時間で実施されており、現在、165人を目標としています。

- ④小学校教育用コンピュータ管理事業について
- Q: 実施内容は。
- A: 学校でのICT教育が円滑に行えるように校務用パソコンや児童生徒の教育用タブレット端末の保守管理を行うほか、ウィルス防止対策として校内LANネットワークの保守管理等を専門業者に委託して行います。
- ⑤中学校教育用コンピュータ整備事業について
- Q: 実施内容は。
- A: 教職員が使用する校務用パソコンを対象に使用開始から6年が経過する滝沢南中、滝沢第二中、一本木中、滝沢中の4校の更新を行います。

- 【審査の視点】
- 6年度でのタブレット活用（家庭での活用も含む）
- 学習教科や授業構成において統一的な活用
- 教員の研修（指導力向上）



【重点項目以外の質疑】

《滝沢市ホームページ管理運営事業》

- Q 6年度改修に伴う管理システムの更新の内容と、改修による効率化の見込みは。
- A システムの全面的なリニューアルは11月末に完了します。
- 改修によりシステムの脆弱性が解消され、これまで以上に職員が誰でもホームページの編集やSNSの発信が簡単にできるようになります。

《公用車更新事業》

- Q 今後、公用車の電気自動車への切り替えは。また「脱炭素化推進事業債」の起債は6年度だけか。
- A 契約電力量や充電設備の課題もあり、全車両の切り替えは考えていません。6年度は電気自動車の軽貨物1台とします。「事業債」は7年度まで利用できる地方債ですが、7年度は普通自動車を更新する予定のため、起債はしません。電気自動車の導入は財源をみながら検討します。

【総括質疑】

《ICT教育》

- Q 電子黒板の整備方針は。
- A 電子黒板や大型モニター等の大型提示装置は活用場面に応じて普通教室より順次整備を進めています。6年度は12台購入し、年度末には普通教室全体への配備率が100%を満たす見込みです。
- Q 家庭でのタブレット端末の活用方針は。
- A 持ち帰り学習は市教育委員会からの学習者用タブレットの持ち帰り学習についての通知に基づき、発達段階に応じて例示された内容を基に各小学校長の判断で順次実施しています。



歳出 第2専門委員会【環境厚生分野】

重点

総合福祉センター（仮称）

- ①重層的支援体制整備事業について
- Q: 事業の方向性は。
- A: 5年度の準備期間を経て、6年度は庁内外関係機関との連携体制の構築、多機関協働の取り組みを行います。
- Q: 包括的相談支援体制の構想は。
- A: 体制を構築するため、庁内外の関係機関が一体となった研修などにより、情報や知識の共有化を図っていきます。
- ②こども・子育て支援推進事業について
- Q: ファミリー・サポート・センター事業などの充実に向けた体制強化策は。
- A: 提供会員を増やすことが課題であると捉えており、その対応として、委託業者による情報誌の配付や学童への出張説明などを行う予定です。

【審査の視点】

- 妊娠、出産、子育てに関する知識の普及は。
- 一体的な相談支援や困難を抱える子ども家庭に対する総合支援は。
- 子育て世代の定住につなげるための経済的支援は。
- 重層的支援体制は。
- 健康行動などを促す健康づくりは。
- 介護予防普及啓発は。



重点

滝沢市に必要な医療体制

- ①患者輸送車運行事業について
- Q: 無医地区に対する受診のための交通手段を確保し、早期発見、治療を行うための取り組みは。
- A: 庁内関係部署と連携し、検討を行っているところです。
- Q: 県の在宅医療強化方針や県内の先進事例などを本事業で検討すべきでは。
- A: 県の方針や情報を把握しているものの、本事業での展開は困難であると考えます。
- ②救急医療対策事業について
- Q: 一次医療圏域としての医療資源を確保するための取り組みは。
- A: 岩手西北医師会管内で連絡会を開催しており、5市町の課題の共有や連携方法を検討しています。

- 【審査の視点】
- 岩手西北医師会が抱える課題への対応は。
- 一次医療圏域に必要な医療サービスの広報活動は。
- 在宅医療に対する市民の声の把握は。



【重点項目以外の質疑】

《環境保全対策事業》

- Q 河川水質調査で、今までの6河川9箇所から、7河川12箇所に変更された要因は。
- A 5年度に入札残があったことから、急速3箇所追加しました。
- Q 自動車の性能などの向上で元年以降、住民からの騒音に関する苦情は無いことから、新幹線の騒音測定と同様に見直しては。
- A 国の基準に基づいて調査しているため、市単独で見直すことはできません。

《老人クラブ活動促進補助事業》

- Q 老人クラブ対象者の加入率向上に向けた考えは。
- A 課題として役員のなり手不足と、役員になった時の手続きの時間が原因と認識しています。
- Q 事務的な軽減もサポート支援しながら、活動が平時になることでクラブ加入のメリットを理解していただくことが会員増加に寄与すると考えています。

【総括質疑】

《滝沢市に必要な医療体制》

- Q 市民が感じている本市の医療サービスの実態を的確に把握することを目的としたアンケート調査について、予算編成時や6年度の協議内容は。
- A 予算編成時には、企画政策課と健康推進課で協議を行いました。
- また、6年度は、医療系コンサルタントに業務委託し、専門的知見を介した市民向けのアンケート調査や医療従事者に対するヒアリング等を予定しており、調査方法などを検討します。
- Q 地域医療の在り方に関するアンケート調査の前に市民に広報する活動が必要では。
- A 本年4月施行予定の岩手県保健医療計画を注視しながら、6年度に予定しているアンケート調査の具体的な内容の協議時に、市民に対する広報活動も含め、検討します。



《観光について》



- 【問】施設老朽化に対応できる建設関係の技術職員が不足しているのでは。
- 【答】技術職員は、土木は28名、建築は6名おり、人事ヒアリングからも不足しているとは考えていません。
- 【問】サイクルロードの選定は。
- 【答】安全面重視で、魅力的なルートを選定します。
- 【問】保育園、幼稚園、担当課、学校、関係機関などが連携したトータル的な支援を行っているが、関係機関などが連携していくための方針は。
- 【答】保育園などでの巡回指導、言葉や聞こえの発達に課題の見える就学前の児童の相談や指導に向けた教室の開催、幼児教室やわくわくクラブの開催、個別の育児相談や言語の相談、心理発達相談などを継続しながら、子ども家庭センターを中心として障がい担当や各関係機関と連携し、事業を展開していきます。
- 【問】滝沢市観光物産協会との連携、人的支援は。
- 【答】重要なパートナーで、さまざまな観光物産行事やイベント等で連携し、市職員も人的な面で一緒に取り組んでいます。
- 今後、地域おこし協力隊なども考慮し、人材選定に向け協会と意見交換を行うしていきます。

総括的質疑

総括的質疑は、各分野各事業にまたがっての質疑です。

《有害鳥獣との共生について》



- 【問】地域別計画で、緩衝ゾーンとしての「里山づくり」推進について、農政サイドとの連携や予算支援の検討は。
- 【答】11の地域別計画では、「里山づくり」の計画はありません。有害鳥獣対策は経済産業部の所管する事業ですので事業の予算は同部にて確保されています。地域が抱えている問題は、担当部署と連携して協働による地域づくりを進めます。
- 【問】森林環境譲与税を財源とした里山づくりを進めて、野生生物と共存する方向性は。
- 【答】同対策での里山づくりの視点は重要ですが、

《公共施設の老朽化対策について》



- 【問】森林環境譲与税は私有林の現状把握や整備事業の推進に向け、その成果が里山づくりにも向かうものと考えます。
- また、地域の河川の草刈りや地域環境の美化、山際の整備など、有害鳥獣の被害に遭わないための取り組みがあります。
- 【問】各公共施設の老朽化対策は、本市でも大きな課題となっているが、修繕予算額の方針は。
- 【答】今後4年間の修繕計画を盛り込んだ施設カルテを各課に作成してもらい予算を策定しています。
- 【問】学校施設の修繕要望箇所への対応予算は。
- 【答】修繕要望箇所は、緊急性の高いものから軽微なものまで上げてもらっているため、件数は多いですが他の改修事に合わせて実施する等、対応しています。



令和6年3月会議(2月22日～3月19日)議案34件・諮問1件・請願2件・発議1件を審議

★可決議案

※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

案件名		概要			単位：千円
議案第 1 号	6年度一般会計予算	20,500,000	前年度比 1,000,000	5.1% 増	
議案第 2 号	6年度国民健康保険特別会計予算	4,450,543	前年度比 △442,715	9.0% 減	
議案第 3 号	6年度後期高齢者医療特別会計予算	579,928	前年度比 72,441	14.3% 増	
議案第 4 号	6年度介護保険特別会計予算	4,414,945	前年度比 219,379	5.2% 増	
議案第 5 号	6年度介護保険介護サービス事業特別会計予算	6,083	前年度比 △2,416	28.4% 減	
議案第 6 号	6年度水道事業会計予算	支出ベース :1,636,141	前年度比 6,353	0.6% 増	
議案第 7 号	6年度下水道事業会計予算	支出ベース :1,628,665	前年度比 21,717	2.7% 増	

案件名			
議案第 8 号	5年度一般会計補正予算（第11号）	議案第 24 号	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正
議案第 9 号	5年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	議案第 25 号	下水道条例の一部改正
議案第 10 号	5年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	議案第 26 号	盛岡広域都市計画下水道事業滝沢公共下水道受益者負担に関する条例の一部改正
議案第 11 号	5年度介護保険特別会計補正予算（第5号）	議案第 27 号	水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正
議案第 12 号	5年度介護保険介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）	議案第 28 号	水道事業給水条例の一部改正
議案第 13 号	5年度水道事業会計補正予算（第2号）	議案第 29 号	補助金等審議会設置条例の廃止
議案第 14 号	5年度下水道事業会計補正予算（第2号）	議案第 30 号	盛岡市と滝沢市との間の学齢児童等の教育に関する事務委託の廃止
議案第 15 号	部設置条例の一部改正	議案第 31 号	市道路線の認定に関する議決
議案第 16 号	印鑑条例の一部改正	議案第 32 号	5年度一般会計補正予算（第12号）
議案第 17 号	職員定数条例の一部改正	議案第 33 号	5年度滝沢市本庁舎1階トイレ・外壁等改修工事請負契約の締結
議案第 18 号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び上下水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	議案第 34 号	5年度一般会計補正予算（第13号）
議案第 19 号	収入証紙購入基金条例の一部改正	発議第 1 号	議会委員会条例の一部改正
議案第 20 号	手数料徴収条例の一部改正	★人事	
議案第 21 号	就学指導委員会設置条例の一部改正		
議案第 22 号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正		
議案第 23 号	介護保険条例の一部改正		
		諮問第1号	人権擁護委員 矢野 直子 氏 適任

★否決議案

※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

請願第 1 号	市内小中学校の女子トイレに生理用品の常備を求める請願
請願第 2 号	現行保険証の存続を求める請願

★上記の内、賛否が分かれた議案

結果 ○賛成 ×反対 ※角掛邦彦議員は 議長であるため、 採決には加わりません。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	表決議員数	賛成票数	反対票数
	奥津 一俊	菅野 福雄	藤原 治	佐藤 澄子	柳橋 好子	日向 裕子	安部 理絵	村木 香織	川口 清之	仲田 孝行	小田島 清美	相原 孝彦	齋藤 明	山谷 仁	鍵本 桂	井上 仁	遠藤 秀鬼	日向 清一	稲荷場 裕	角掛 邦彦			
議案第 1 号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	19	17	2
議案第 2 号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	19	17	2
議案第 4 号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	19	17	2
議案第 25 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※	19	18	1
請願第 1 号	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	※	19	7	12
請願第 2 号	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	※	19	7	12

★請願内容説明

【請願第1号】 市内小中学校の女子トイレに生理用品の常備を求める請願 【請願事項】 市内小中学校の女子トイレに無償で生理用品を常備すること。	【請願第2号】 現行保険証の存続を求める請願 【請願事項】 国に対し、現行保険証の存続を求める意見書を提出すること。
---	---

一部紹介

これが新規事業だ！

1

障がい者等地域包括ケアシステム整備事業

ねらい
障がい者などが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域づくりを推進するため、地域生活支援拠点の設置や地域包括ケアシステムの構築により、複雑多様化している相談やニーズに対応する機能や体制の整備を図る。

Q：地域生活支援拠点の設置場所は。
A：相談支援事業所や短期入所施設、グループホーム等が既存の社会資源を活かして緊急時に対応する面的整備を整備するとし、市の基幹相談支援センター、地域福祉課を中心に準備を進めています。



2

こども家庭総合支援事業

ねらい
こども家庭センターの設置運営によるすべての妊産婦、子育て世帯、こどもへの切れ目ない支援が一体的な相談支援体制の強化を図る。

Q：関係機関との連携状況は。
A：滝沢市児童家庭相談援助ネットワークを設置し、管内の児童相談所である岩手県社会福祉総合相談センター、盛岡西警察署、学校、民生児童委員などに構成員になっていただき、定期的な情報共有を図っています。



3

大学未来共創事業

ねらい
市内に2つの大学が立地する特徴を活かし、若者が自己実現のため、さまざまな分野で活躍できるよう、若者世代の活動に必要な支援を行うことを通じ「若者の望む生き方を実現できるまち」をめざす。

Q：地域と若者、若者同士の交流プロジェクトの詳細は。
A：「滝沢ミライプロジェクト」がスタートしており、市に興味を持つ大学生がテーマ別にチーム編成し、地域の問題解決のプレゼンテーションをコンテスト形式で行うもので、地域の方々向けに最終成果発表を開催します。6年度以降も5年度の活動で提案されたアイデアを形にしていくなめの活動として継続していきます。



4

第1先古川線道路整備事業

ねらい
本路線は、災害時の防災拠点などであるビッグルーフ滝沢と隣接し、さらには、岩手県緊急輸送道路へ接続している。このことから、災害時にはその補完路としての役割を担い、地域の輸送を支え、防災・減災に資する道路として整備する。

Q：向新田線の計画交通量への影響は。
A：5年度、都市政策課が周辺道路の交通量調査を行い、6年度は交通解析を行う予定で、これまでの解析と併せて交通量の伸び等を勘案し、計画交通量を決めていきたいと考えています。中心拠点商業地区の計画交通量を踏まえて設計しており、影響はありません。



★討論

議案第 1 号 6 年度一般会計予算	
【反対】仲田 孝行 議員（日本共産党） パートナーシップ制度導入の方向性は示されず、医療体制の充実も検討のみです。 また、中心拠点商業地区開発事業では投資対効果が明確にされておらず、こどもまんなか滝沢は全くの看板倒れになっているため反対です。	【賛成】鍵本 桂 議員（自由民主クラブ） つながる滝沢・こどもまんなか滝沢・いきいき滝沢・まなぶ滝沢・はたらく滝沢の視点を具現化させるため、公平性と安心を得る確かな行政体制を構築する施策推進計画が図られている予算になっていることから賛成します。

議案第 2 号 6 年度国民健康保険特別会計予算	
【反対】仲田 孝行 議員（日本共産党） 高すぎる保険税の引き下げ、18 歳以下の子の均等割りの廃止による子育て支援などが本予算にはなく、暮らしを成り立たせ、払うことのできる協会けんぽ並みの保険料で、安心して受診できる公的医療制度を求め予算案に反対します。	【賛成】村木 香織 議員（自由民主クラブ） 保険給付に関してはレセプト点検の徹底、重複、多受診者への訪問、ジェネリック差額通知などの医療費適正化への取り組み、保健事業に関しては特定健康診査や保健指導で被保険者の健康増進に努力がみられることから賛成します。

議案第 4 号 6 年度介護保険特別会計予算	
【反対】川口 清之 議員（日本共産党） 介護特別会計予算額は 6 年度約 44 億円、第一号被保険者保険料は約 11 億円で 107.5% 増と大幅な増額となります。 公費の大幅な投入はもちろんです、本市も独自の保険料の減免、利用料の補助などの支援策をとるべきと考え反対します。	【賛成】奥津 一俊 議員 住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、地域包括支援センターによる連携と支援体制の強化、市民主体の活動支援および安心して在宅生活が送れる対応などがなされており、介護保険特別会計予算に賛成します。

請願第 2 号 現行保険証の存続を求める請願	
【賛成】仲田 孝行 議員（日本共産党） 現在、マイナ保険証利用率は内閣府の職員で 5.6%、国民全体の利用率は 4% 台で、現行健康保険証の 12 月の廃止は時期尚早であり、マイナ保険証への全面切り替えに国民的合意がされるまで存続するよう求め賛成します。	【反対】安部 理絵 議員（自由民主クラブ） 国民皆保険制度の下、政府が進めている医療デジタルトランスフォーメーションを踏まえ社会保障、税、災害対策の 3 分野における情報連携や行政手続きの簡略化をめざするため、本請願は不適切であると考え反対します。
【賛成】菅野 福雄 議員 マイナ保険証の一本化はカードの取得が任意である原則に反しており、独居の高齢者や障がい者の方はマイナ保険証の取得や管理、更新手続きが困難になり、保険医療が受けられない危険が考えられ賛成します。	【反対】相原 孝彦 議員（公明党） マイナンバーカードは多様なサービスが 1 枚に集約され、高齢者の方々は利用しやすくなり、市議会から提言した「滝沢市に必要な医療体制」にある訪問医療などに関する医療 DX の加速化をさせるためにも反対します。



かっこのさえずり No.9

市民のみなさんの声をシリーズでお届けします。



プロフィール

- 昭和 59 年 7 月 9 日生まれ（八戸市出身）
- パステル和（NAGOMI）アートインストラクター
- 滝沢市大沢出身のご主人との結婚を機に定住
- 小学三年生の男の子のお母さん
- チャグチャグ馬コ読み聞かせボランティア
- スキンケア相談員

私が最も伝えたいこと

取り組んでいること

地域と市の懸け橋になり、人と人をつなぎたい 齊藤 とも絵 さん

とも絵さんの願い

《とも絵さんのこれから》



～お知らせ～

議会報告会を開催します



詳しい内容・日程は市HPをご覧ください。

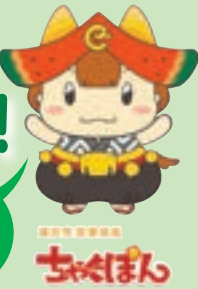
5～8月の予定

5 月 14 日(火)	議会運営委員会 全員協議会	7 月 4 日(木)	議会運営委員会 全員協議会
6 月 6 日(木)	議会運営委員会 全員協議会	8 月 1 日(木)	議会運営委員会 全員協議会
6 月 13 日(木)	6 月会議	8 月 19 日(月)	予算決算常任委員会
6 月 14 日(金)	各常任委員会	8 月 22 日(木)	予算決算常任委員会
6 月 17 日(月)	6 月会議（一般質問）	8 月 26 日(月)	議会運営委員会 全員協議会
6 月 19 日(水)		8 月 27 日(火)	予算決算常任委員会
6 月 21 日(金)	6 月会議 議会運営委員会	8 月 29 日(木)	予算決算常任委員会

このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。

議会に
おでんせ!

傍聴者数
3 月会議… 15 名



市議会のくわしい情報は、滝沢市議会ホームページをご覧ください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

滝沢市議会 Q 検索